

2012年3月28日

アルミナ繊維の新ラインの竣工及び増設について
～ 自動車排ガス処理装置の旺盛な需要に対応 ～

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社(本社:東京都中央区 社長:吉田 宏)は、世界的に需要が伸長しているアルミナ繊維「MAFTEC(マフテック)®」について、本年2月に新ライン(1系列)を竣工させましたのでご連絡いたします。また合わせて、新ライン(1系列)の増設を決定しました。新ラインは坂出工場(香川県坂出市)に設置します。

当社が成長事業の一つとして位置づけるアルミナ繊維「MAFTEC®」は、1600℃を超える高温環境下でも長時間の断熱性及びクッション性を維持できるなど様々な優れた特長を有し、自動車の排ガス処理装置用触媒コンバーター及びDPF*のサポート材や鋼材再加熱炉用断熱材として、国内外の需要家から高い評価を得ています。特に、触媒コンバーター、DPF サポート材として世界トップとなる約4割のシェア(アルミナ繊維としては約8割/当社推定)を有しています。

当社は、本年2月、坂出工場において新ライン1系列を竣工させ、さらに本年5月末までにもう1系列を竣工させて、生産能力を約5,600トン/年まで増強する計画ですが、自動車の排ガス処理装置の旺盛な需要は当社の増産を上回る勢いで伸長しております。この旺盛な需要に対応すべく、今般、坂出工場に新たなライン1系列(400トン/年)の増設を決定しました。竣工は、2012年12月末の予定です。

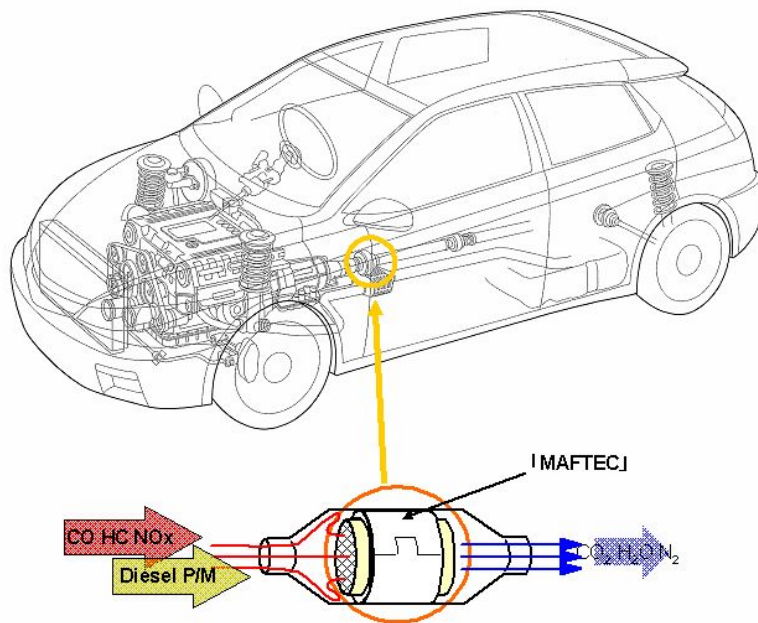
アルミナ繊維は、新興国における自動車生産台数の増加や世界各国における自動車や建機の排ガス規制の強化に伴い、今後もさらに需要が伸びることが予想されています。当社は、マーケットの状況を注視しながら、今後も供給能力の拡大を図ってまいります。

*DPF(ディーゼル・パーティキュレート・フィルター)

ディーゼルエンジンから排出されるスス状物質を浄化する装置



アルミナ繊維「^{マフテック}MAFTEC[®]」



自動車の排ガス処理装置の触媒コンバーター用サポート材 説明図

<本件に関する報道関係のお問合せ先>
三菱樹脂株式会社 総務部 広報室
TEL:03-3279-3800